

## R3 年度地方創生関係事業検証結果

事業名	新発田 DMO 活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくり																																											
事業概要	観光による交流人口の増加及び経済効果の創出を目指す DMO を設立し、新発田市及び阿賀北地域の観光資源を活用した回遊促進策や送客を進めるとともに、台湾等における物産商談会の実施のほか、農産物等の生産現場視察や地元業者との商談などを行うことにより、産業の底上げを行う。																																											
K P I	<table border="1" data-bbox="450 539 1962 1019"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="5">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)</td> <td>58 品目</td> <td>66 品目</td> <td>68 品目</td> <td>49 品目</td> <td>43 品目</td> <td>—</td> <td>85 品目</td> </tr> <tr> <td>管内農産物等輸出金額</td> <td>4,000 千円</td> <td>6,250 千円</td> <td>29,303 千円</td> <td>53,108 千円</td> <td>53,562 千円</td> <td>—</td> <td>45,700 千円</td> </tr> <tr> <td>管内インバウンド客宿泊者数</td> <td>5,417 人</td> <td>13,740 人</td> <td>12,870 人</td> <td>19,391 人</td> <td>4,799 人</td> <td>—</td> <td>22,500 人</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="465 1038 1245 1066">※1：新発田 DMO がプロデュース、コーディネートを行ったものに限る。</p>							数値目標	基準値	実績値					目標値 (R3 年度)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)	58 品目	66 品目	68 品目	49 品目	43 品目	—	85 品目	管内農産物等輸出金額	4,000 千円	6,250 千円	29,303 千円	53,108 千円	53,562 千円	—	45,700 千円	管内インバウンド客宿泊者数	5,417 人	13,740 人	12,870 人	19,391 人	4,799 人	—	22,500 人
数値目標	基準値	実績値					目標値 (R3 年度)																																					
		H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度																																						
EC サイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数 (※1)	58 品目	66 品目	68 品目	49 品目	43 品目	—	85 品目																																					
管内農産物等輸出金額	4,000 千円	6,250 千円	29,303 千円	53,108 千円	53,562 千円	—	45,700 千円																																					
管内インバウンド客宿泊者数	5,417 人	13,740 人	12,870 人	19,391 人	4,799 人	—	22,500 人																																					
外部評価 (コメント)	<ul data-bbox="416 1134 1984 1302" style="list-style-type: none"> <li>・バーチャルビューなどの活用も検討してはどうか。</li> <li>・加工品の商品開発については、ニーズ調査や市場調査も重要であり、東京などにあるアンテナショップや、各地で開催される物産展なども視野に入れた展開を検討してはどうか。</li> <li>・コロナ禍においても観光地のユニバーサルデザイン化等受け入れのための環境整備はできるはずであり、アフターコロナに向けての準備をお願いしたい。</li> </ul>																																											

## R3 年度地方創生関係事業検証結果

<p>事業名</p>	<p>企業間連携促進（SSIBA）事業</p>																																
<p>事業概要</p>	<p>地方創生推進交付金を活用し、平成 28 年度から平成 30 年度まで食品工業団地にて実施した「新発田企業コンシェルジュモデル事業」の全市的事業展開を進めるため、企業間連携と企業・教育機関連携を促進していくことを目指す。</p>																																
<p>KPI</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値</td> <td>0%</td> <td>△7.4%</td> <td>12.6%</td> <td>—</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率</td> <td>55.9%</td> <td>57.7%</td> <td>68.4%</td> <td>—</td> <td>56.5%</td> </tr> <tr> <td>企業間連携事業に参画する企業数</td> <td>0 社</td> <td>15 社</td> <td>25 社</td> <td>—</td> <td>30 社</td> </tr> </tbody> </table>						数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値	0%	△7.4%	12.6%	—	1.5%	ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率	55.9%	57.7%	68.4%	—	56.5%	企業間連携事業に参画する企業数	0 社	15 社	25 社	—	30 社
数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)																												
		R1 年度	R2 年度	R3 年度																													
企業間連携事業参画企業の採用 3 年以内の社員に対する自己都合による離職者割合の改善値	0%	△7.4%	12.6%	—	1.5%																												
ハローワーク新発田管内における高校生の管内就職率	55.9%	57.7%	68.4%	—	56.5%																												
企業間連携事業に参画する企業数	0 社	15 社	25 社	—	30 社																												
<p>外部評価 (コメント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のオンライン化を検討してはどうか。</li> <li>・外国人、高齢者、障がい者雇用に対する勉強会を継続して支援していただきたい。</li> </ul>																																

## R3 年度地方創生関係事業検証結果

<p>事業名</p>	<p>若者移住定住促進事業～拡充版～</p>																																
<p>事業概要</p>	<p>地方創生推進交付金を活用し、平成 28 年度から平成 30 年度に実施した「若者移住定住促進プロジェクト」の検証をもとに、胎内市と連携して、首都圏での移住セミナーや移住体験交流ツアーを展開する。事業を通じて新発田市はもとより周辺地域の魅力を伝えるとともに、広域圏の仕事情報を発信していくことで、移住・定住の促進を図る。また、首都圏に住む新発田ゆかりの若者とのつながりを深める取組や、新発田に住む子どもたちを対象に歴史や文化、人と人とのつながりなどを通じて、地域の誇りや愛着心を育む取組を実施する。</p>																																
<p>K P I</p>	<table border="1" data-bbox="468 671 1904 1082"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R3 年度)</th> </tr> <tr> <th>R1 年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本事業を通じて移住した者の数</td> <td>5 人</td> <td>7 人</td> <td>0 人</td> <td>—</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数</td> <td>30 人</td> <td>44 人</td> <td>17 人</td> <td>—</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td>サポーターズクラブのメンバー数</td> <td>80 人</td> <td>91 人</td> <td>92 人</td> <td>—</td> <td>160 人</td> </tr> </tbody> </table>						数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	本事業を通じて移住した者の数	5 人	7 人	0 人	—	20 人	移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数	30 人	44 人	17 人	—	50 人	サポーターズクラブのメンバー数	80 人	91 人	92 人	—	160 人
数値目標	基準値	実績値			目標値 (R3 年度)																												
		R1 年度	R2 年度	R3 年度																													
本事業を通じて移住した者の数	5 人	7 人	0 人	—	20 人																												
移住セミナー・移住体験ツアーの参加者数	30 人	44 人	17 人	—	50 人																												
サポーターズクラブのメンバー数	80 人	91 人	92 人	—	160 人																												
<p>外部評価 (コメント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式 LINE の投稿頻度を上げていってはいかがでしょうか。</li> <li>・郷土愛を育み、子どもたちに素敵な思い出をたくさん作ってあげられるような施策に取り組んでもらいたい。</li> <li>・サポーターズクラブのメンバーが増えていないので、実効性のある活動を望む。</li> </ul>																																

### R3 年度地方創生関係事業検証結果

<b>事業名</b>	「公共交通」×「起業・創業支援」×「まちの顔づくり事業」で繋ぐ新発田市地域活性化プロジェクト																																				
<b>事業概要</b>	<p>①「公共交通の充実」（買い物困難者を支える公共交通手段の整備・充実、利便性の高い待合所などの整備、地域の実情に応じた公共交通ルート of 整備）、②「起業・創業支援の充実」（各種支援制度の充実、空きビル・空き店舗を活用したリノベーションなどの推進、キッチンカー・移動販売など新たな創業分野への展開）、③「中心商店街周辺のにぎわい・活性化」（遊休地などでの実証実験、空きスペースの緑化やベンチ等の設置などによる居心地の良い空間・環境整備、まちづくりを推進する統一ロゴマーク作成などによるまちの魅力向上）の3事業を柱とした地域活性化プロジェクト</p>																																				
<b>KPI</b>	<table border="1" data-bbox="450 671 1962 1023"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="5">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R6年度)</th> </tr> <tr> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あやめバスの年間利用者数</td> <td>77,850人</td> <td>63,905人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>79,150人</td> </tr> <tr> <td>民間主体のイベント実施割合</td> <td>79%</td> <td>72.0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>84.0%</td> </tr> </tbody> </table>								数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6年度)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	あやめバスの年間利用者数	77,850人	63,905人	—	—	—	—	79,150人	民間主体のイベント実施割合	79%	72.0%	—	—	—	—	84.0%
数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6年度)																														
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																															
あやめバスの年間利用者数	77,850人	63,905人	—	—	—	—	79,150人																														
民間主体のイベント実施割合	79%	72.0%	—	—	—	—	84.0%																														
<b>外部評価 (コメント)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやめバスについて、経年劣化による色のくすみが気になる。あやめバスは新発田の顔でもあるので早急に対処していただきたい。</li> <li>・移動販売事業が追加されたのは評価できる。高齢者が安心して暮らせるよう積極的に取り組んでいただきたい。</li> </ul>																																				

## R3 年度地方創生関係事業検証結果

<b>事業名</b>	大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト																																			
<b>事業概要</b>	明治 45 年、当市出身の実業家・大倉喜八郎が向島隅田川沿いに建設した別邸の一部『蔵春閣』が（公財）大倉文化財団から移築・復元を含め、新発田市に寄附されることとなった。大倉スピリッツ「進一層」の精神に基づき、『蔵春閣』という新たな市のシンボルを宝にして、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を図ることにより、地方創生を加速させる。																																			
<b>K P I</b>	<table border="1" data-bbox="450 612 1960 962"> <thead> <tr> <th rowspan="2">数値目標</th> <th rowspan="2">基準値</th> <th colspan="5">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R6 年度)</th> </tr> <tr> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅前エリア来訪者数 (※1)</td> <td>2,000 人</td> <td>3,250 人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9,000 人</td> </tr> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>265 万人</td> <td>120 万人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>268 万人</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="409 999 918 1029">※1 本プロジェクトに関連した来訪者数</p>							数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6 年度)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	駅前エリア来訪者数 (※1)	2,000 人	3,250 人	—	—	—	—	9,000 人	観光入込客数	265 万人	120 万人	—	—	—	—	268 万人
数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6 年度)																													
		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																														
駅前エリア来訪者数 (※1)	2,000 人	3,250 人	—	—	—	—	9,000 人																													
観光入込客数	265 万人	120 万人	—	—	—	—	268 万人																													
<b>外部評価 (コメント)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大倉喜八郎は大河ドラマの主人公である渋沢栄一と関わりが多いので、新発田市をアピールするチャンスであり、活用してもらいたい。</li> <li>・新発田の子供たちに、喜八郎の事業経営に望んだ心構え、精神等を教育の一環として伝えていただきたい。</li> </ul>																																			

### R3 年度地方創生関係事業検証結果

<b>事業名</b>	持続可能な安心して暮らせる地域づくり計画																																				
<b>事業概要</b>	人口減少に対応し、農村地域の水質保全を継続することで、良質な農作物の生産基盤を安定させるとともに、他の関連事業とも密に連携を図ることで、持続可能なまちづくりや担い手確保などの農業振興を目指すため、公共下水道及び農業集落排水施設の広域化・共同化を実施し、併せて農業集落排水施設の機能更新、監視システムの統一を図る。																																				
<b>K P I</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">数値目標</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">基準値</th> <th colspan="5">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (R6 年度)</th> </tr> <tr> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> <th>R6 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">経営 20h a 以上の農地所有適格法人数</td> <td>46 法人</td> <td>55 法人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>49 法人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">農業集落排水の維持管理費</td> <td>75,666 千円</td> <td>75,666 千円</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>60,566 千円</td> </tr> </tbody> </table>								数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6 年度)	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	経営 20h a 以上の農地所有適格法人数	46 法人	55 法人	—	—	—	—	49 法人	農業集落排水の維持管理費	75,666 千円	75,666 千円	—	—	—	—	60,566 千円
数値目標	基準値	実績値					目標値 (R6 年度)																														
		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																															
経営 20h a 以上の農地所有適格法人数	46 法人	55 法人	—	—	—	—	49 法人																														
農業集落排水の維持管理費	75,666 千円	75,666 千円	—	—	—	—	60,566 千円																														
<b>外部評価 (コメント)</b>	・ 計画的に事業を進めていただきたい。																																				